

# 令和元年 第2回 西区区づくり推進横浜市会議員会議

令和元年6月3日(月) 16時開始  
西区役所4階4A会議室

## 次 第

### 1 開 会

### 2 座長の選出

### 3 議 題

(1) 令和元年度 西区運営方針について

(2) 令和元年度 西区主要事業の進捗状況について

ア 「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」の推進

イ 西区ふれあい福祉推進事業

ウ 高齢者あんしん生活サポート事業

エ 障害のある人も住みやすいまちづくり事業

オ 子育て支援の推進

カ 家計のやりくり応援事業

キ 商店街及び「まち」のにぎわい創出事業

ク 地域資源を活用したまちの回遊性向上事業

ケ 交通安全事業

コ 安心して暮らせるまちづくり推進事業

サ 地域防災活動推進事業

(3) その他

ア 西区に係る予算のすがた

イ 西区における開発動向等について

### 4 会議報告書の作成

### 5 閉 会

# 令和元年度 西区 運営方針

## I 基本目標 つながり大切に 誰もがにこやかしあわせにらせるまち 西区へ

西区の総合的な計画である「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」(第3期西区地域福祉保健計画、愛称：にこまちプラン)は、着実に取組が進み、5か年計画の4年目を迎えます。

引き続き、地域の皆さまと区役所の連携・協力を強め、にこまちプランと地域包括ケアシステムを取組を一体的に進めるとともに、より良いまちづくりに取り組んでいきます。

今年度は、大規模イベントの開催により来街者の増加が見込まれます。歴史に残るビッグイベントをきっかけに、西区が一層輝き、魅力あふれるまちとなるよう、各施策を進めていきます。

## II 目標達成に向けた施策

### 地域のつながりづくり

4年目を迎える「にこまちプラン」の推進を通じて、引き続き、地域の皆さまと一緒に考え、課題の解決に取り組む「協働による地域づくり」を進めるとともに、地域の「担い手づくり」「居場所づくり」に関する取組を継続していきます。加えて、区全体計画の取組の振り返りを行い、次期第4期計画の策定に向けて準備します。

#### いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

子どもから高齢者まで、誰もが自分らしく安心して暮らせる環境づくりとして、切れ目のない子育て支援、高齢者の暮らしを支える仕組みづくり、障害のある人への活動サポート、生活困窮者への相談支援、生活習慣病予防などの健康づくりに取り組みます。

#### まちの回遊性向上とにぎわいづくりにぎわいづくり

第7回アフリカ開発会議やラグビーワールドカップ 2019™の開催に合わせて、商店街等と連携したにぎわいづくりやイベントの機運醸成に取り組めます。また、地域資源を活用した魅力発信や区内の回遊性を高める取組を進めます。さらに、東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けて、スポーツ振興を強化します。

#### 安全・安心なまちづくり

地域における自助・共助の取組を支援するとともに、各種訓練の実施など地域の防災機能を強化します。また、地域や関係機関とも連携して、防犯啓発活動や交通安全対策を一層強化するとともに、熱中症対策、食中毒・感染症予防啓発にも力を入れて取り組みます。

## III 目標達成に向けた組織運営 ～親しみやすい区役所づくり～



西区のマスコットキャラクター「にしまるちゃん」

#### お客様の立場に立った窓口サービスの提供

区民の皆さまを笑顔とあいさつで温かくお迎えます。お話をよく聴き、丁寧でわかりやすい説明を心掛け、迅速で正確なサービスを提供します。

#### 西区の取組や魅力の発信

「広報よこはま」をはじめとした広報紙やホームページ、SNS など、様々な方法を有効に活用して、西区の取組や魅力を積極的に発信します。

#### 『チーム西区役所』の強化

職員一人ひとりが能力を最大限発揮できるよう、人材育成を進めます。また、各課が連携し、横のつながりを強め、『チーム西区役所』として総合力を発揮します。

主な事業・取組については、次ページをご覧ください⇒

## 1 4年目を迎える「にこまちプラン」の推進を通じて、地域の皆さまとともに課題解決に取り組みます

- ・区役所、区社会福祉協議会、地域ケアプラザからなる地区支援チームが、地域の課題解決に向けた取組を支援します。
- ・「にこまちフォーラム」を開催し、地域の主体的な取組を共有するとともに、さらなる活動の充実につなげます。
- ・にこまちプラン区全体計画の振り返りを実施し、次期計画の策定に向けた準備を進めます。



にこまちフォーラム

## 2 地域活動の担い手を支援し、協働でまちづくりを進めます

- ・自治会・町内会をはじめとして、福祉や環境・文化・スポーツ・青少年育成など、様々な分野で地域の活動を行っている団体と連携し、より良いまちづくりを進めます。
- ・「西区地域づくり大学校」の開催や「居場所づくりガイドブック」の活用を通じて、地域の新たな担い手づくりや居場所づくりにつなげます。

## 1 乳幼児期から学齢期まで、切れ目のない子育て支援を行います

- ・「プレパパママ教室」や「赤ちゃん教室」などに加え、3歳児健診時に臨床心理士による個別相談を行うなど、妊娠期から出産後まで切れ目のない子育て支援を行います。
- ・児童虐待の防止に向け、見守りやネットワークの強化を図ります。
- ・利用者のニーズに合わせた保育・教育施設の紹介などを行い、待機児童対策を進めます。
- ・「はまっ子ふれあいスクール」から「放課後キッズクラブ」へ転換し、放課後の居場所の充実を図ります。

## 2 高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられる仕組みをつくります

- ・地域包括ケアシステムについて、関係機関や区役所の取組を広く周知する啓発キャンペーンを実施します。
- ・「お店版認知症ガイド」の配布や、認知症サポーター養成講座の実施など、認知症にやさしいまちづくりを進めます。
- ・「膝痛予防」をテーマとした講演会や研修会を実施します。
- ・「西区在宅療養ガイド」を活用して、高齢者の在宅療養に関する理解を深めます。
- ・民生委員・児童委員、「ふれあい会」等の活動を支援し、ひとり暮らし高齢者等の見守り体制を充実させます。



お店版認知症ガイド

## 3 障害のある人も安心して生活できる環境づくりを進めます

- ・区民まつりやふれあい作品展などの機会を通じて、障害への理解を深める取組を進めます。
- ・地域防災拠点訓練にあわせた啓発を行うなど、障害のある人及び家族を支える地域のネットワーク強化を図ります。

## 4 生活習慣病予防や食育推進に向けた情報発信を行います

- ・パネル展の実施などを通して、生活習慣病予防や口腔ケア、食育推進など健康づくりへの関心を高めます。

## 5 生活に困窮している人へ早期の自立に向けた相談支援を行います

- ・相談者自ら家計のやりくり改善に取り組むためのワークブックを作成し、生活に困窮している人の自立を支援します。

## 6 子どもから大人まで読書に親しめる取組を進めます

- ・大学などと連携した講座や施設間のスタンプラリーを実施し、身近な場所で読書に親しむ機会をつくります。



## 1 第7回アフリカ開発会議やラグビーワールドカップ 2019™の開催にあわせて、商店街やまちのにぎわいづくりに取り組みます

- ・第7回アフリカ開発会議（TICADVII）開催にあわせ、アフリカ文化への理解を深めるイベントを開催します。
- ・ラグビーワールドカップ 2019™のファンゾーンが臨港パークに設置される機会を利用して、商店街の魅力を広く来街者等にPRします。
- ・区内小学校で元日本代表選手による体験型ラグビー教室を開催します。



こどもラグビー教室

## 2 地域資源を活用した魅力発信やまちの回遊性向上に取り組みます

- ・海外からの来街者が増加することを踏まえ、公共施設案内サインを多言語化するとともに、ガイド情報誌「ことりっぴ横浜西区さんぽ」の英語版を作成し、西区の魅力を発信します。
- ・観光に特化したマップをデジタル化し、スマートフォンでの閲覧や英語表示に対応します。
- ・引き続き「ベイバイク」のポートを既成市街地に広げ、まちの回遊性を高めます。

## 3 西区の歴史資産等を活かした取組を行います

- ・55回目を迎える「西区虫の音を聞く会」や「横浜かもんやま能」、「西区民まつり」などのイベントの開催を通して、地域の更なる交流と活性化を図ります。

## 4 大規模スポーツイベントに向けた機運を高めるため、身近な場所でスポーツに親しめる機会をつくります

- ・東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、元出場選手によるスポーツ教室や体験会を開催します。

## 1 自助・共助の取組を進めるとともに、地域における防災機能を強化します

- ・地域防災拠点の取組支援や、感震ブレイカーの設置促進、初期消火器具等の更新補助などを引き続き実施し、自助・共助の取組を進めます。
- ・外国籍の住民や海外からの来街者対応として、防災マップを多言語化します。
- ・横浜駅周辺地区の安全性を高めるため、帷子川水位上昇に係る調査を大学・企業と協働で行います。



地域防災拠点訓練  
(中学生による救命救急講習)

## 2 地域の防犯力の強化に取り組みます

- ・振り込め詐欺や特殊詐欺被害防止のため、青色パトロールの出動拡大や防犯メール配信など、関係機関と連携した防犯啓発を行います。

## 3 まちの交通安全対策を関係機関とともに推進します

- ・小学校全校での交通安全教室の実施や、スクールゾーンの安全対策など、地域・学校・警察・関係団体と連携して地域の交通安全を強化します。

## 4 健康危機管理に取り組みます

- ・衛生に関する意識啓発や事業者への指導を通じて、食中毒や感染症予防啓発に努めます。
- ・クールシェアスポットの紹介など、熱中症対策に向けた注意喚起を行います。

## 5 環境にやさしい生活スタイルの定着を目指します

- ・ごみの減量や3Rの取組を進めるとともに、横浜駅周辺での企業等の清掃活動を支援します。
- ・緑のカーテン栽培講座等を通じて、脱温暖化に向けた意識啓発や、身近な緑づくりを進めます。

## 6 道路・下水道・公園を適切に維持管理します

- ・計画的に維持管理・点検・修繕し、誰もが住みやすい環境づくりに取り組みます。





# 親しみやすい区役所を目指して

## 総務課 (窓口 50・51)

チーム西区役所を支えます！  
快適で親しみやすい区役所づくりを推進するとともに、地域の自助・共助の活動支援や各種訓練等により災害対応力の強化に取り組みます。また、選挙や統計調査を適正に進めます。

## 区政推進課 (窓口 1・49)

区民の皆さまが必要とする情報を、様々な広報手段を活用してわかりやすく伝えます。  
また、大規模イベントにあわせて区の魅力を発信するとともに、まちづくりや地域に関するニーズをとらえ、区の運営に生かします。

## 地域振興課 (窓口 47・48)

自治会・町内会や、各種団体等と連携を図りながら、誰もが安心して暮らせるまちづくりに取り組みます。また、大規模イベントの開催を契機として、地域の皆さまや商店街等と連携して、まちのにぎわいを創出します。

## 税務課 (窓口 43~46)

市税業務を公正・適正に行うとともに、区民の皆さまに十分な理解が得られるように、丁寧に説明します。  
また、税負担の公平性を保つため、適切に滞納整理を進めます。

## 区会計室 (窓口 41)

区民の皆さまの信頼に応える、迅速で適正な会計経理事務を行います。  
また、窓口に来た方や電話でのお問い合わせに対し、わかりやすい説明を心掛け、丁寧な対応をします。

## 高齢・障害支援課 (窓口 21~23)

高齢者が安心して住み慣れた地域で暮らし続けるため、必要なサービスが切れ目なく提供できるよう取り組みます。  
また、障害のある人が住みやすいと思うまちを目指し、障害への理解を促進します。

## こども家庭支援課 (窓口 24・25)

妊娠期から学齢期まで、切れ目のない子育て支援を行います。  
地域・学校・幼稚園・保育所・地域子育て支援拠点等と連携し、はじめて子どもを育てる方も安心して子育てができる環境づくりを進めます。

## 福祉保健課 (窓口 26・27)

地域の皆さまが主役の「にこまちプラン」を関係団体と連携強化しながらサポートしていきます。また、区民の皆さまがにこやかに健康に過ごせるよう、感染症対策や生活習慣病予防のPRに努めます。

## 生活衛生課 (窓口 28)

区民の皆さまが健康で安全に暮らせるよう、食中毒・感染症の予防啓発、食や衛生害虫の情報提供、犬猫の飼育マナーに関する知識の普及啓発をします。横浜駅やみなとみらい周辺で開かれるイベントの衛生対策を推進します。

## 戸籍課 (窓口 2~6)

窓口に来た方を温かくお迎えし、丁寧にわかりやすい説明をします。また、迅速で正確な事務処理を行います。  
特に個人情報に適切に取り扱うことで、皆さまから信頼される窓口を目指します。

## 保険年金課 (窓口 7~10)

保険・年金制度を通じて、窓口に来た方や、区民の皆さまに高いサービスを提供します。  
また、関係各課と連携して、困り事のある方を幅広く支援していきます。

## 生活支援課 (窓口 11)

生活に困っている方に寄り添い、親身な相談や的確な支援を通して生活を支えます。特にジョブスポットと連携したお仕事探しや家計のやりくりへの支援の充実、子どもの将来の自立に向けた支援に力を入れます。

## 西土木事務所

道路、下水道、公園の維持管理や、ハマロード・サポーター、公園愛護会の支援を行います。  
また、区民の皆さまの要望に適切に対応し、安全で快適なまちづくりを進めます。

## 南浅間保育園

子ども一人ひとりを尊重し、大切に慈しむ保育を行います。  
また、区内の子育て関連施設と連携して地域の親子への子育て支援を行うとともに、区全体の保育の質の向上を図ります。

「チーム西区役所」は資源循環局 西事務所や西消防署等とも連携し、地域の皆さまと一緒に課題解決に取り組めます！



令和元年度 5月発行

### 3-(2) 令和元年度 西区主要事業の進捗状況について

※下線部は前回（第1回）市会議員会議後にスケジュール等進捗のあったものです。

## 地域のつながりづくり

### ア 「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」の推進 （福祉保健課）（区政推進課） （地域振興課）（高齢・障害支援課） 【予算額 3,390千円（対前年度比 1,496千円増）】

西区では、「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」（西区地域福祉保健計画、愛称：にこまちプラン）を西区の総合的な計画と位置づけ、その推進にあたっては、区社会福祉協議会や地域ケアプラザと連携した地区支援チームが積極的にサポートし、地域包括ケアシステムの構築に向けても一体的に取り組みながら、地域の様々な活動を支援することで、住民同士の「顔の見える関係づくり」や、地域課題の解決に住民が取り組む機運を一層広げることを目指しています。

令和元年度は、「第3期（平成28～令和2年度）にこまちプラン」の4年目を迎え、より着実な計画の推進を図り、地域主体の取組を進めていくとともに、特に地域で課題となっている「担い手づくり」「居場所づくり」に関する取組を継続して進めます。加えて、現行計画の進捗等の振り返りを実施し、次期第4期計画の策定作業に着手します。

また、「西区地域のつながりを育み強める補助金」等の活用や、地域づくり大学校とも連携しながら、地域の取組をより効果的に支援します。

#### (1) 「にこまちプラン」の推進等（3,390千円）

##### ① 担い手づくり・居場所づくり

区PTA連絡協議会と連携しながら、子育て世代を対象に、地域とのつながりを深めていく機運を高めるための講座を開催します。

##### ② こども向け啓発事業の実施

学校や放課後キッズクラブ等と連携し、こどもたちが「自分にできること」をにこまちプランの取組目標と関連付けながら考える機会を創出します。（5回予定）



こども向けにこまちプラン啓発事業の様子

##### ③ 推進・評価委員会、プランの啓発・PR

- ・プランの推進状況を確認するため推進・評価委員会を開催します。（7月5日開催予定）
- ・地域による取組の発表を中心に、活動の情報やノウハウを共有して活動の充実につなげるため、「にこまちフォーラム」を開催します。（令和2年2月15日開催予定）



にこまちフォーラムの様子

#### ④ 次期第4期計画の策定【新規】

次期計画の策定に向け、アドバイザーの助言を踏まえながら現行計画の振り返りを実施し、計画の骨子を作成します。令和2年度以降、作成した骨子をもとに、推進評価委員会等の意見を聴きながら策定を進めていきます。

#### 【令和元年度 第4期計画策定に向けたスケジュール】

月	実施事項	実施内容
7月	推進評価委員会	・第4期区計画策定のスケジュールについて報告
7月～11月	現行計画の振り返り	・区民アンケート ・分野別（高齢、障害、児童、ボランティア）の活動団体へのヒアリング ・区、区社会福祉協議会、地域ケアプラザにおいて実施事項の進捗確認
12月	推進評価委員会	・振り返りの報告、策定の進め方や策定検討会の開催について確認
3月	骨子の作成	・計画の全体構成について策定検討会で確認

※ 策定検討会は推進評価委員会の委員の中から一部の委員を選出。

#### (2) 地域人材の育成・発掘と地域団体の連携推進（市民局 区配事業）

##### ① 西区地域のつながりを育み強める補助金

自治会町内会を含む2つ以上の団体が連携して行う、地域の課題解決、地域活動の担い手の発掘や育成への取組など、地域活動の充実及び自立に向けて、活動助成の一つとして補助金を交付します。

現在、地域の多世代交流や子供たちの居場所づくりへの取組など、新規1件・継続1件の補助を決定するとともに、継続1件の補助を予定しています。

② 協働の『地域づくり大学校』事業

地域ケアプラザ等との連携を深め、地域活動の担い手となる人材の発掘と育成を目指します。

『西区地域づくり大学校』の受講生の拡大を図るために、一時託児を引き続き実施します。また、昨年度末に作成した『居場所づくりガイドブック』を自治会町内会をはじめ区内の市民利用施設に配付し、受講者の掘り起こしを図ります。

さらに、これまでの西区地域づくり大学校修了生に対し、場所や資金に関する相談の機会を設けるなどして、協働事業者と協力しながら、地域に活動が根付くよう支援していきます。



地域づくり大学校の活動風景

- ・令和元年度実施スケジュール（予定）

受講者募集 7月～8月

本講座 9月～12月（全6回）

■参考（平成30年度実績）  
 実施時期：9月～12月（全6回）  
 テーマ：『自分らしさでつくる“プラスワン”のつながり』  
 受講者数：14名（修了者数：13名）



居場所づくりガイドブック

イ 西区ふれあい福祉推進事業

（福祉保健課）

【予算額 3,888千円(対前年度比 181千円増)】

地域でのひとり暮らし高齢者、高齢者のみ世帯等の見守りなどを行う、自治会町内会単位の「ふれあい会」活動の支援、区民への広報・普及を行います。

これまでの対象に加え地域で見守りが必要と判断する世帯（日中ひとりになる高齢者がいる世帯、障害者のみの世帯など）へ対象を拡大するとともに、活動の担い手の負担軽減に配慮し、団体によって活動頻度を緩和できるように制度を変更しました。

- ・ふれあい会への助成金交付（65団体）
- ・情報誌「みみより広場」発行（6、9、12、3月発行予定）
- ・高齢者等の見守り活動に関する研修会

西区福祉保健センター 平成30年12月13日 第63号

**みみより広場**

発行・発行会社  
 西区福祉保健センター福祉委員会  
 西区福祉保健センター（福祉保健課）  
 電話：320-8437  
 FAX：324-3782

「みみより広場」は、高齢者の健康・生活の向上を目的として、平成15年7月から発行を開始し、現在、休刊管理が難しい手前となりました。手洗い・うがいでかぜ等を予防しましょう。

**まちのお元気さん**

**加藤 七枝子さん**

今紹介する「まちのお元気さん」は、75歳4月にお住まいの加藤七枝子さんです。加藤さんは、大正14年生まれの88歳です。昭和22年に結婚してからずっと戸籍は行方不明で、4人の子供とともに大所帯の中で、家事を回り盛りしてきました。40年以上前に西区ボランティア活動をする団体に入会してメンバーとして参加し、約20年間にわたりボランティア活動をなされてきました。最近では自宅周辺のゴミ拾いを日課のように行い、街の美化にも貢献されています。また、地区センターの体操教室に月4回通って、現在43年目となります。毎年は区管職員です。他にも85歳までテニスをしてきたり、山歩きが好きだったご主人と5年ほど、富士山に登り、これまでに4回も登頂した経験もあるなど、とても活発な生活を送られてきました。

そんな加藤さんに健康の秘訣はかとお尋ねすると「多くこと」好き嫌いなく食べること「よく寝ること」と笑顔でお話してくれました。今でも体操教室の他地域のラジオ体操に参加したり、勝山公園まで散歩に行ったり、またある日はお花を見に行こうと、思い切って鎌倉まで足を伸ばすこともあり、活発な生活を送っておられます。これからも、健康の秘訣をお聞かせしながらお元気にお過ごし下さい。

（写真・取材：西区本町地域ケアプラザ）

♪ いきいき 健康レシピ ♪ ☆レシビ紹介者 食生活改善推進員  
 簡単に調理ができる、栄養バランスの良い料理をご紹介します♪

【材料】（2人分）

かぼちゃ 1/8個  
 密着凍かぼちゃでもよい

レーズン（干しぶどう）  
 大きさ1

牛乳 大きさ1.5

マヨネーズ 大きさ1.5

塩・こしょう 少々

**かぼちゃのクリーム**

- ① かぼちゃは種を除き、一口大に切り、ラップをして電子レンジに3分かける。（車がと選ればよい）
- ② レーズンには塩を塗り、乗らなくてもよい。
- ③ ①をボールに入れてつぶし、牛乳、マヨネーズを加えて混ぜ合わせる。塩、コショウで味を調え、最後に水気を切ったレーズンを加える。

みみより広場



# いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

## ウ 高齢者あんしん生活サポート事業

(高齢・障害支援課)

【予算額 2,729千円(対前年度比 45千円増)】

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を送れるよう、「横浜型地域包括ケアシステム構築に向けた西区行動指針」に基づき、「認知症等高齢者を支える地域づくり」「地域包括ケアシステムの基盤づくり」「介護予防普及啓発」の取組を推進します。

### (1) 認知症等高齢者を支える地域づくり (757千円)

#### ① 認知症サポーター養成講座の実施

認知症にやさしいまちづくりを進めるため、引き続き地域住民、学校や企業等の要請に応じて、認知症サポーター養成講座を実施します。また、新たに小学生等を対象とした講演会(8月3日)を開催し、認知症の正しい知識と理解を周知します。

#### ② 「お店版認知症ガイド」を活用した普及啓発

認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、買い物に日頃訪れるコンビニエンスストア・商店街等の従業員に向けて認知症の人への対応のポイントや相談先を掲載した「お店版認知症ガイド」を昨年度作成し、現在周知に努めているところです。

引き続き、本ガイドを活用し、普及啓発を行うとともに、地域における見守りの目としての意識醸成に努めます。

#### ③ 認知症普及啓発を担う人材に対する育成研修の実施

認知症キャラバン・メイト(登録者数140名)等に向けて人材育成研修を交流会と合わせて実施し、地域における自主的活動につながるよう支援します。

#### ④ 企業連携による「もしもカード」の周知

徘徊や外出先での緊急時に備えたカード「もしもカード」について、高齢者等に配布するだけでなく、高齢者を支援する立場にある方へ周知するため、事業の趣旨に賛同する企業と連携しながら、さらに普及に取り組みます。(2社 計10,000枚、広報よこはま西区版7月号にて特集予定)



お店版 認知症ガイド

もしもカード		西区役所 高齢・障害支援課
もしもの時に備え、外出時に身元を確認するものとして携帯しましょう		
ふりがな		
氏名		
生年月日		
連絡先	— —	
住所		

もしもカード

(2) 地域包括ケアシステムの基盤づくり (825千円)

① 地域包括ケアシステム啓発キャンペーンの実施

期間を定め、「在宅医療・介護連携」「生活支援・社会参加の充実」「介護予防」「認知症対策」の推進に関する関係機関や区役所等の取組を一体的にPRするとともに、パネル展を行い、地域包括ケアシステムを広く周知します。(11月)

② 西区在宅療養ガイドの増刷【拡充】

在宅療養に関する理解を広めるため、平成29、30年度に作成した「西区在宅療養ガイド パート1・パート2」を活用し、シニアクラブ等へ周知・啓発(6月から)します。(4,000部発行)



西区在宅療養ガイド  
パート1・パート2

③ 地域ケア会議へのアドバイザー派遣

地域包括ケアシステムの構築に向けて、区レベル(2回、1回目11月)・地域包括支援センターレベル(4回)地域ケア会議にアドバイザーを派遣し、地域課題の抽出から課題解決につながるよう会議の充実を図ります。

(3) 介護予防普及啓発 (1,147千円)

① 区民向け膝痛予防講演会等の開催【新規】

介護予防に関する普及啓発の取組の一環として、アンケート結果からニーズの高い「膝痛予防」をテーマとした講演会(5月29日)・指導者研修会(6、8月)・体操講座(7、9、11月)を開催し、広く区民へ周知します。

② 介護予防活動を担う人材に対する育成研修等の実施  
(健康福祉局 区配事業)

地域における介護予防活動のリーダーとなる「げんき活動応援団」(登録者数30名)の人材育成研修を実施するとともに、介護予防活動グループ交流会を開催し活動の充実を図ります。(10月2回)



げんき活動応援団

③ 介護予防に関するリーフレットの充実【拡充】

地域における介護予防に関する活動の場や健康づくりの取組等を紹介するリーフレットの掲載内容を充実し、高齢者の活動の場や健康づくりの取組への参加につなげます。



「お元気活動応援マップ」  
「健康づくり活動・グループ紹介」

④ 「ころばんよ体操」DVD等の増刷

「ころばんよ体操」のDVD(100枚)・解説書(3,000部)を増刷・配布し、地域における介護予防に関する自主的活動の把握や活性化のために活用します。

## エ 障害のある人も住みやすいまちづくり事業

(高齢・障害支援課)

【予算額 4,519千円(対前年度比 1,852千円増)】

### (1) 障害理解促進のための啓発・PR事業 (3,440千円)

障害のある人が安心して暮らせるまちづくりを推進するため、様々な機会を通じて啓発活動を行っています。

#### ① 地域防災拠点訓練での啓発活動 (9月、4か所)

・西区地域防災拠点管理運営委員会連絡協議会での協力を依頼 (5月24日)



区民まつりでの啓発活動

#### ② 区民まつりでの啓発活動 (11月)

#### ③ 西区ふれあい作品展 (12月、2か所)

#### ④ 障害者地域活動支援センターにおける障害理解促進・啓発活動 (10月5日、12月、2月) 【拡充】

障害者と地域住民がふれあう場を創出する取組 (区内障害者施設の製品販売や作品展の開催、ヒューマンライブラリー) の実施



ふれあい作品展

### (2) 障害児・者の活動支援及び地域人材の育成・発掘・ネットワーク化 (1,079千円)

#### ① 障害福祉関係情報冊子のリニューアル【新規】

事業内容や製品紹介ページを設けることで、当事者・家族だけでなく地域住民にも身近な地域に障害児・者の活動場所があることを知ってもらい、障害児・者の地域生活についての理解を深めます。

・構成やレイアウトの検討を開始 (10月完成予定)



障害福祉関係情報冊子「こんぱす」  
平成 27 年版

#### ② 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築を進めるための関係機関ネットワーク強化【新規】

当事者・家族を含めた勉強会の実施 (2回)

#### ③ 電源を要する等、医療依存度が高い医療ケアを要する在宅障害児・者※への災害対策

・災害時個別支援計画 (「わたしの災害対策ファイル」) の作成支援

・西区ケアマネ連絡会 (4月26日)、西区訪問看護ステーション連絡会 (5月14日) にて事業の協力依頼

・ガス式発電機等を設置した福祉避難所6か所と連携した訓練の実施

※電源を要する等、医療依存度が高い医療ケアを要する在宅障害児・者とは、人工呼吸器や吸引器などの電源を要する医療機器を日常的に使用している方。発災時には停電になることも想定されるため、生命に関わる事態も予想されます。



## オ 子育て支援の推進

(こども家庭支援課)

【予算額 3,710千円(対前年度比 235千円増)】

本市の平均と比較して出生数に占める第1子の割合や転入・転出率が高い西区において、妊娠期から学齢期まで、切れ目のない子育て支援を進めるため、区内の地域子育て支援拠点や保育所等の関係施設と連携して事業を実施します。

### (1) 西区で子育て学び隊事業

都市化により孤立しがちな子育て家庭に対して育児に関する正しい知識の普及と仲間づくりを進めます。赤ちゃん教室では、月齢に合った、子どもの成長を促す遊び方を学ぶ機会を増やします。



赤ちゃん教室の様子

- ・赤ちゃん教室：9か所×年10回  
(4月実績：81組165名)
- ・プレパパママ教室(土曜開催)：年4回  
(5月25日実績：24組参加)
- ・中学校いのちの教室：全5校(9月より順次実施)

### (2) 西区の保育施設つながり事業

南浅間保育園において地域の親子を対象とした子育て支援事業を実施するとともに、子育て関連施設と連携して、育児講座や保育の質向上に向けた研修等を実施します。

また、対応が困難な保護者への関わり方について、保育所等職員を対象とした臨床心理士による相談・研修を実施します。

- ・地域の親子向け育児講座の開催(南浅間保育園)：年5回
- ・出前合同育児講座の開催(西区子育て関連施設連絡会)：区内7地区で各1回開催
- ・臨床心理士による相談・研修の実施【新規】：通年

### (3) 女性と子どものための相談支援強化事業

乳幼児期から学齢期・思春期までの子育ての心配ごとに関する相談窓口を周知します。また、子どもの発達の特徴に気づいていない保護者に対しても、適切な助言を行えるよう、3歳児健康診査時に臨床心理士による個別相談を実施します。

- ・子ども・家庭支援相談事業紹介ちらしの作成及び配付：2,000部
- ・3歳児健康診査時の臨床心理士による個別相談【新規】：年16回  
(5月16日まで2回、計12件)



## カ 家計のやりくり応援事業【新規】

(生活支援課)  
【予算額 605千円】

生活に困窮している方が、家計のやりくりの重要性を理解し、収支バランスの改善に自ら取り組むことができるワークブックを作成します。家計改善支援（平成30年度までは家計相談支援）に実績のある事業体（中高年事業団やまで企業組合）に作成を委託し、「効果的な節約方法や家計の安定に向けた改善方法等のアドバイス」や「世帯の収支や債務状況、目標とする収支」といった表を解説付きで盛り込みます。

また、作成段階から公租公課の徴収部門（税務課・保険年金課）と連携して、意見を取り入れ、滞納とならないように活用します。さらに、地域の関係機関にも配布し、活用できるようにします。

（発行部数：400部、発行時期：10月予定）



相談の様子(イメージ)

### ■参考（生活困窮者自立支援制度）

生活保護に至る前の段階から、生活困窮状態からの早期脱却に向けて支援する「第2のセーフティネット」として、平成27年4月から全国的にスタートした制度です。

支援の対象者は、「就労状況、心身の状況、地域社会との関係性その他の事情により、現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある者」と定義されており、経済的な困窮状態にある方を広く捉えています。

「住宅確保給付金」を除き、基本的に現金給付はなく、自立に向けた人的支援を有期で提供するという点が特徴です。

### 【生活困窮者自立支援制度の相談・利用実績】

	27年度	28年度	29年度	30年度
新規相談案件数	163	180	187	<u>240</u>
うち徴収部門経由	44	44	44	<u>36</u>
支援申込み件数 A	44	74	69	<u>78</u>
家計相談支援件数 B	20	31	39	<u>28</u>
申込み件数のうち 家計相談支援割合 B/A	45.5%	41.9%	56.5%	<u>35.9%</u>

### 【生活困窮者自立支援制度の支援メニュー】

支援メニュー	支援内容
自立相談支援	支援員がどのような支援が必要かを相談者と一緒に考え、具体的な支援プランを作成します。
住宅確保給付金	離職によって住居を失った方等に、一定期間、家賃相当額を支給します。
家計改善支援 (H30年度までは家計相談支援)	自ら家計を管理できるように、収支バランスや債務整理に関するアドバイスをします。また、債務相談や貸付窓口の紹介し、必要に応じ窓口まで同行します。
就労準備支援・ 就労訓練	すぐに就労することが難しい方に、生活習慣や基礎能力を養う支援をします。また、短時間就労の機会（いわゆる「中間的就労」）を提供します。
就労自立促進事業	区役所の中にある「ジョブスポット」（ハローワーク横浜の施設）を活用しながら就職活動をサポートします。
一時生活支援	住居を持たない方に対し、一定期間宿泊場所や食事を提供します。また、退所後の生活に向けた就労支援などの自立支援を行います。
寄り添い型 学習支援	生活困窮や養育困難などの課題を抱えている世帯の子どもに対し、将来の自立のための高校進学に向けた学習等の支援をします。

## まちの回遊性向上とにぎわいづくり

キ 商店街及び「まち」のにぎわい創出事業 等

(地域振興課)

ク 地域資源を活用したまちの回遊性向上事業 等

(区政推進課)

【予算額 12,579千円(対前年度比 1,719千円増)】

第7回アフリカ開発会議、ラグビーワールドカップ2019™、東京2020オリンピック・パラリンピック等の大規模イベント開催により、来街者が増加する機会を捉え、区内の回遊性を高めるための取組を進め、まちの賑わいを創出します。

### (7) 大規模イベント開催に伴う賑わい創出

#### (1) ラグビーワールドカップ2019™開催に合わせたまちの賑わい

##### ① 商店街連携イベントや商店街を巡るスタンプラリー等の開催 (2,139千円) 【拡充】

ラグビーワールドカップ2019™ファンゾーンの開催の機会を利用して、商店街の魅力由来街者等に広くPRを行うため、商店街と連携したイベントを開催します。

また、商店街へ実際に足を運ぶきっかけづくりを目的として、商店街を巡るスタンプラリー等を開催します。



ファンゾーン(イメージ)



商店街事業(スタンプラリー)

##### ② 「ラグビー教室」の開催【拡充】 (市民局区配事業)

ラグビーワールドカップ2019™開催に向けた機運醸成として、区内小学校(東小・浅間台小・富士見台小)において元日本代表選手などによる体験型のラグビー教室を開催します。

###### ■参考(地域イベントでのPR)

市民局と連携してさくらフェスタやみなとみらい大盆踊り、みなとみらい秋まつりでのブース出展などラグビーワールドカップ2019™関連イベントを開催します。



こどもラグビー教室

(2) 第7回アフリカ開発会議開催に合わせた機運醸成の取組

① アフリカヘリテイジフェスティバルin横浜西区の開催 (1,000千円) 【新規】  
(その他、国際局及び文化観光局区配事業)

「第7回アフリカ開発会議 (TICAD7)」の機運を高め、市民の皆さまにアフリカの文化への理解を深めていただくため、音楽やワークショップ、アフリカ料理などのブース出店により、アフリカの生活等が体験できるフェスティバルを開催します。

開催日：8月3日～4日

場 所：グランモール公園

主 催：NPO法人 アフリカヘリテイジコミュニティ

共 催：西区役所



アフリカヘリテイジフェスティバル(イメージ)

(3) 東京2020オリンピック・パラリンピック開催に向けた機運醸成の取組

① スポーツ振興の強化 (1,900千円)  
(その他、市民局区配事業)

区内小学校 (稲荷台小・戸部小・宮谷小・みなとみらい本町小) において、オリンピック・パラリンピアンによるスポーツ教室を実施します。また、区民の皆さまに向けた啓発事業を引き続き実施します。



平沼小学校でのスポーツ教室



富士見台小学校でのスポーツ教室

(4) 来街者等への広報充実及び魅力発信による回遊性向上

(1) 多言語化によるインバウンド対応 【新規】

① 公共施設案内サインの多言語化 (1,500千円)

国道沿いに主に設置されている公共施設案内サインについて、横浜市公共サインガイドラインに準拠した多言語化を行います。また、経年劣化による破損・汚損の改修を行い、見やすく分かりやすい盤面に更新します (16基)。



公共施設案内サイン



② 英語版ガイド情報誌の作成 (2,000千円)

ガイド情報誌「ことりっふ横浜西区さんぽ」の英語版を作成し、ラグビーワールドカップ2019<sup>TM</sup>開催の機会等を利用して配布することで、来街者へ西区の魅力を発信します。

発行部数：5,000部

発行時期：8月初旬予定



ことりっふ横浜西区さんぽ

■参考 (ことりっふ横浜西区さんぽ)  
 発行：平成30年3月 (ふるさと西区推進委員会)  
 発行部数：4万部 (約24,000部配布済：平成30年度末)  
 配布場所：観光案内所、区内金融機関、区内主要ホテル、中央図書館  
 西区役所、区内イベント会場 等  
 電子書籍版アプリ無料コンテンツ  
 ダウンロード数：5,272件 (平成30年度末)

(2) 観光マップのデジタル化 (2,000千円) 【新規】

「にしくまち歩きマップ」及び「サイクルマップ」(平成31年3月発行)で取り上げているスポットや、西区フォトコンテスト応募作品の撮影スポット等をまとめたデジタル観光マップを作成・公開します。これにより、スマートフォンでの閲覧や、英語による表示など、利便性向上を目指します。

■参考 (ベイバイクのポートの増設)  
 サイクルマップを活用した、「まちの回遊性の向上」を図るために、引き続き、既成市街地へのポート増設に取り組み、既成市街地の賑わいに繋がります。



サイクルマップ



まち歩きマップ

(3) 地域資源を活用した魅力発信 (2,040千円)

平成30年度に実施した「西区フォトコンテスト」のパネル展示を引き続き実施します。また、大規模イベントの開催に伴い来街者が増加する機会を捉え、応募作品を活用した西区の魅力発信を行っていきます。

さらに、イベント等でのブース出展にあわせて西区公式Instagram“にしまる探検隊”をPRすることで、フォロワー数と来街者の増加を図り、まちの賑わいづくりにつなげます。

■参考 (Instagram：5月15日現在)  
 投稿数：71件 フォロワー数：547人



西区Instagram投稿写真(一部)



西区フォトコンテスト応募作品活用例  
 カレンダー壁紙(区HP掲載)



## 安全・安心なまちづくり

### ケ 交通安全事業

(地域振興課)

【予算額 2,290千円(対前年度比 641千円増)】

地域、学校、警察、関係団体と連携し交通事故防止対策として、新たな交通安全教室の開催や啓発キャンペーン活動、スクールゾーンの安全対策等、地域の交通安全事業を強化します。

#### (1) 小学校への交通安全教育事業 (550千円) 【拡充】

既存の交通安全教室に加えて、新たに保護者向けの講話や体験型の交通安全教室を全校で展開し、交通ルールを守る大切さや無謀運転の危険性を学ぶことができるよう強化します。交通安全教室については6月末までに全小学校で実施します。



交通安全教室(歩き方、自転車の乗り方教室)

#### (2) 交通安全運動推進事業 (539千円) 【拡充】

各季交通安全運動西区キャンペーン等を開催し、新たなパネル展や啓発物品の配付等により区民をはじめ、多くの市民へ交通事故防止を呼びかけます。



春の全国交通安全運動



秋の全国交通安全運動

#### (3) スクールゾーン等への対策 (1,201千円)

各小学校のスクールゾーン対策協議会に対し、活動助成金を交付し運営の支援を行うとともに、協議会の協議に基づき、自治会・町内会、警察、関係団体とともに、通学路の安全設備等(路面標示の補修・新設、電柱巻等)の整備を行います。



## サ 地域防災活動推進事業

(総務課)(福祉保健課)

【予算額 12,773千円(対前年度比 2,899千円増)】

### (1) 地域防災拠点の機能強化 (2,151千円)

#### ① 地域防災拠点訓練等の実施

「西区地域防災拠点管理運営委員会連絡協議会」を開催しました。(5月24日)

また、発災時に各地域防災拠点(以下、「拠点」)が円滑に開設・運営されるよう、引き続き訓練を実施します(9月及び1~3月、年2回)。



平沼小学校地域防災拠点訓練

#### ② 多様な避難者への対応支援

横浜市立大学と共同で作成した「拠点カルテ※」を活用し、現状と課題の分析を進めます。要援護者やペット連れの方など様々な避難者に対し各拠点の実情に対応した支援を実施します。

※ 拠点カルテとは、運営面、施設面など様々な視点から各拠点の現状を分析し、今後解決すべき課題等を共有できるようにするためのもの。

### (2) 区本部の防災機能強化 (6,648千円)

#### ① 河川水位上昇に係る調査の実施【新規】

全国有数のターミナル駅である横浜駅周辺地区における安全・安心を確保するため、昨今のゲリラ豪雨等に伴う河川水位の急激な変化要因等について大学及び事業者と共同で調査を開始しました。帷子川流域の下水管路の状況と雨量、潮位、河川水位の過去データを集積し、水位上昇の特色を分析しています。

#### ② 大規模イベントに向けた帰宅困難者対応訓練

大規模災害が発生し横浜駅周辺地区及びみなとみらい地区において、帰宅困難者が多数発生したことを想定し、7月22日にパシフィコ横浜において帰宅困難者一時滞在施設の開設に向けたシミュレーション訓練を実施します。

#### ③ 震災・風水害対策本部運営訓練

災害時の協定を締結した企業等と連携し、発災時の情報受伝達や避難所の開設等を想定したシミュレーション訓練を実施します。

#### ④ 災害医療対策の推進

災害医療連絡会・災害時医療研修(2月)を通じて関係機関・団体と連携し、災害時の医療救護体制の課題や対応策について検討します。また、医療救護隊巡回訓練(9月)や通信訓練(年6回)等実践を意識した訓練を実施します。

(3) 自助・共助の推進 (3,974千円)

① 木造住宅密集地域における減災対策

感震ブレーカー簡易タイプ設置促進事業では、西区全域に補助事業対象地域を拡大し、より一層の普及を図ります（平成31年度目標1,000個）。【拡充】  
また、老朽化した初期消火器具等の更新費用の補助事業を引き続き実施します。

■参考（地震火災対策方針対象地域への感震ブレーカー補助実績）		
28年度：951個	29年度：689個	30年度：413個

② 多言語版防災マップの作成【新規】

外国籍の住民でも避難所等の防災情報を容易に入手できるよう、防災マップを複数言語化し、ホームページ上で提供します。

③ 幅広い世代を対象とした防災・減災啓発

次世代の防災の担い手となる中学生に向けたセミナーを西区の中学校区5校で実施します。また、子育て世代向けリーフレット（31年3月作成）や小中学生向け防災ガイドを引き続き活用し、機会を捉えて啓発を行います。



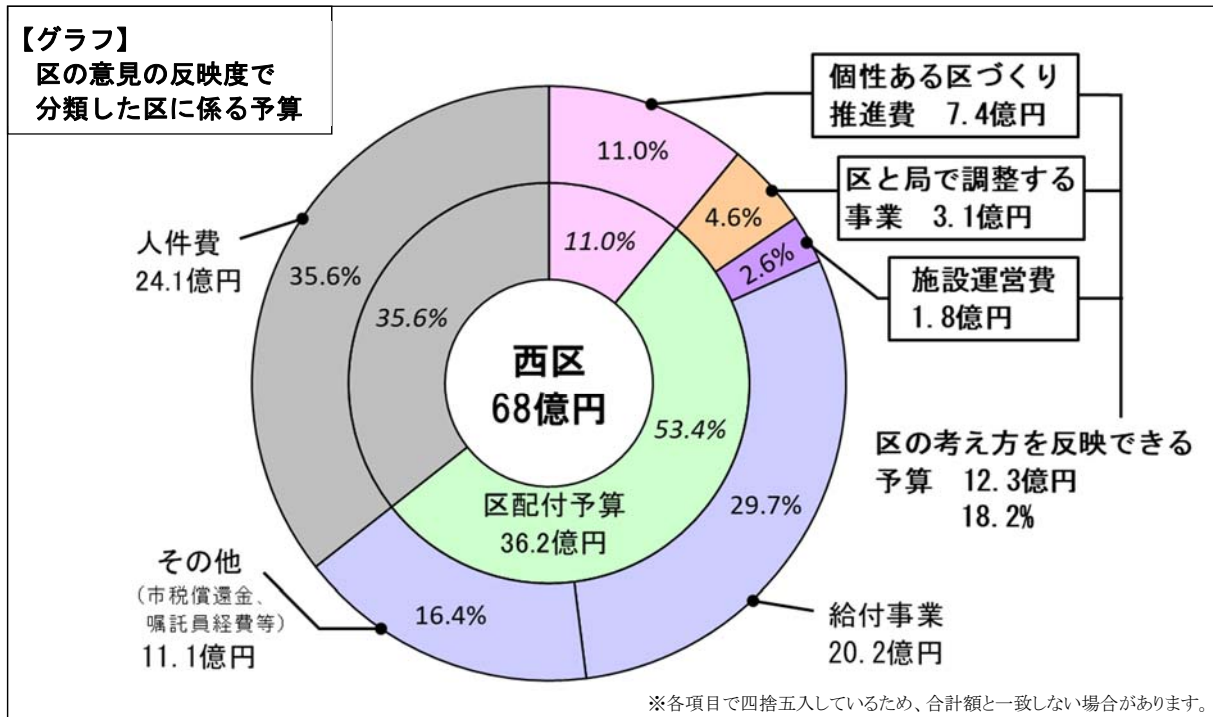
岡野中学校防災セミナー



3-(3)-ア 西区に係る予算のすがた(令和元年度 一般会計予算)

【総務課】

横浜市の一般会計の規模は、1兆7,615億円です。  
 18区が執行している予算の規模(区の人件費含む)は、2,001億円です。  
 このうち西区では、68億円を執行しています。



**予算の特徴**

- 令和元年度の西区の一般会計予算規模は、68億円です。  
 区民一人あたりに換算すると 66千円(全市平均 53千円)を支出しています。
- 西区では、「個性ある区づくり推進費」は、全体の 11.0%(7.4億円)です。  
 また、局から予算配付を受けて執行する「区配付予算」は、53.4%(36.2億円)です。
- 「個性ある区づくり推進費」に、区配付予算の「区と局で調整する事業」と「施設運営費」を加えた、18.2%(12.3億円)が区の考え方を反映できる予算です。  
 残りは、生活保護などの給付事業 29.7%(20.2億円)や人件費 35.6%(24.1億円)等の義務的経費です。

分類	予算 (百万円)	説明
<b>区に係る予算</b>	<b>6,774</b>	
個性ある区づくり推進費	743	区の裁量や創意工夫に基づき自律編成する予算
区配付予算	3,618	局からの予算配付を受け、区が執行している予算
区と局で調整する事業	314	市の施策を推進するにあたり、区と局が企画連携して展開する予算 【主な事業】市民局:元気な地域づくり推進事業
施設運営費	179	施設を運営する上で、施設ごとに一定の基準を有する予算 【主な事業】こども青少年局:市立保育所運営費
給付事業	2,015	対人給付に係る経費。全市一律のサービス水準の確保が前提となる事業 【主な事業】健康福祉局:生活保護費
その他(市税償還金等)	1,110	市税償還金及び還付加算金、嘱託員経費等
人件費	2,413	

## 【参考】主な事業内容

分類	予算 (百万円)	説明
<b>個性ある区づくり推進費</b>	<b>743</b>	区の裁量や創意工夫に基づき自律編成する予算
自主企画事業費	100	地域の身近な課題やニーズに、迅速かつ、きめ細かく対応するための事業費です。
統合事務事業費	35	広報よこはま各区版の発行や各区市民相談、青少年指導員等の活動、生活保護及び戸籍・住民登録等に係る経費です。
温暖化プラス事業 区SDGs未来都市推進事業	18	区役所や地域における温暖化対策の取組や、区役所が地域特性を生かした事業を提案し、SDGs未来都市を推進するための事業費です。
区庁舎・ 区民利用施設管理費	445	区庁舎や地区センターなどの区民利用施設の管理運営に係る経費です。
区行政推進費	146	嘱託員やアルバイトに係る経費です。
<b>区配付予算</b>	<b>3,618</b>	局からの予算配付を受け、区が執行している予算
区役所総務費	440	(総務部が執行する予算です。)
賦課徴収費	227	市税の課税・納税に関わる償還金や還付加算金、納税通知書の作成や発送するための経費などです。
広報費	9	「広報よこはま」や「県のたより」の配布謝金など、広報・広聴に係る経費です。
統計調査費	4	各種統計調査を行うための経費です。
その他	201	戸籍住民登録の事務費、各種選挙の実施、自治会・町内会組織助成などを行います。
身近なまちづくり	557	(土木事務所が執行する予算です。) *下水道事業を含む
道路修繕費等	490	道路の修繕や交通安全施設の整備・補修などを行います。
河川維持管理費等	7	準用河川の維持管理や親水水路の維持管理などを行います。
下水道事業(※参考)	(62)	既設管の修繕や共同排水設備の受託施工などを行います。
公園管理費等	60	身近な公園の維持管理や老朽化した公園施設の改良などを行います。
子育て支援	429	(福祉保健センター等が執行する予算です。)
市立保育所運営	103	保育に欠ける乳児、幼児を保育する保育所の運営費などです。 南浅間保育園の運営費です。
放課後児童健全育成	184	地域の理解と協力のもと、保護者の就労等の事情により、留守家庭となる児童の保護及び遊びを通じた健全な育成を行う放課後児童クラブ運営委員会への補助金などです。
その他	143	小児医療費助成、児童手当・児童扶養手当の支給などを行います。
生活保護等	1,991	(福祉保健センターが執行する予算です。)
生活保護	1,978	生活困窮者に対して、国の定める基準により、その困窮の程度に応じて扶助費を支給するための経費などです。
生活困窮者自立支援	13	生活保護に至る前段階の生活困窮者に対して、国の定める基準に基づき、自立に向けた包括的な相談支援を実施するための経費などです。
福祉・保健	200	(福祉保健センターが執行する予算です。)
障害者福祉	69	身体障害児・者の身体機能を補う用具、日常生活を円滑にするための各種用具の給付・貸与を行うほか、障害状況等に合わせた住宅改造や自立支援機器の購入・取付に関わる経費の助成などを行います。
高齢者福祉	24	老人クラブへの助成や寝たきり高齢者等への日常生活用具の給付・貸与に関わる経費。介護予防型のデイサービス事業(介護保険対象外事業)などを行います。
その他	107	地域ケアプラザの管理運営経費や民生委員・児童委員の活動費の支給などを行います。
人件費	2,413	
職員人件費	2,413	
<b>合計</b>	<b>6,774</b>	※下水道事業を含む 6,836百万円

※各項目で四捨五入しているため、合計額と一致しない場合があります。

※年間を通じた概ねの配付額を算出していますので、あくまでも区に係る予算の大まかな全体像を示した内容となっています。

(現時点では区への配付額が未定のため、区へ配付する予定額を18区均等配分したものや按分したものも含まれています)

## 3-(3)-イ 西区における開発動向等について

地図	項目	概要
①	市民病院	<p>医療の高度化や医療環境の変化に対応していくため、市民病院再整備事業に取り組んでいます。神奈川区側で診療棟、西区側で管理棟の建設工事を行っています。</p> <p>【スケジュール】</p> <p>平成29(2017)年10月 診療棟の建設工事着工  平成30(2018)年11月 管理棟の建設工事着工  令和2(2020)年1月末 完成予定  令和2(2020)年5月1日 開院予定</p>
②	横浜駅周辺浸水対策	<p>(1) (仮称)神奈川処理区横浜駅周辺雨水幹線及び東高島ポンプ場整備事業</p> <p>横浜駅周辺では10年確率降雨(60mm/1時間)に対する整備を行ってきましたが、さらなる治水安全度の向上に向け、30年確率降雨(74mm/1時間)に対応するため、新たに雨水幹線及びポンプ場の整備を予定しています。</p> <p>【スケジュール】</p> <p>平成29(2017)年度 公共事業事前評価制度による評価  平成30～令和2年度(2018～2020年度) 詳細設計・関係機関等協議  令和2(2020)年度 工事着手予定  令和12(2030)年度 供用開始予定</p> <p>(2) 水位周知下水道・雨水出水浸水想定区域</p> <p>地下街周辺等の公共下水道水位の計測を行い、水位や雨量情報等から溢水を予測して、水防活動に活用することを目指した取組を進めます。</p> <p>【スケジュール】</p> <p>平成30(2018)年1月 横浜駅西口のマンホール4か所で計測開始  平成30～令和2年度(2018～2020年度) 計測の継続、解析・周知方法の検討  令和2(2020)年度 水位周知下水道の指定、雨水出水浸水想定区域の指定(予定)</p>
③	久保町防災広場等整備	<p>老朽化した防火水槽の更新に向け、防災広場の整備を行います。整備後の防災広場の日常管理については、町内会と調整する予定です。</p> <p>【施設概要】 防災広場等</p> <p>【スケジュール】</p> <p>平成30(2018)年2月 西区久保町第三自治会説明  平成30(2018)年度 測量作業、設計作業(道路)  令和元(2019)年度 用地取得、設計作業(広場)(予定)  令和2(2020)年度 工事(防火水槽撤去、防災広場・新設道路整備)(予定)  令和3(2021)年度 移管手続(予定)</p>

④	伊勢町公舎跡地	<p>約2haの土地のうち北側約15,200㎡は、住友不動産㈱が平成26年度に県から取得し、集合住宅及び保育所が建設されました。また、敷地内には地域要望による歩行者通路と隣接する『西区地域活動ホーム』の避難路が確保されました。</p> <p>なお、南側の約4,000㎡については市が取得し、隣接する伊勢町もくせい公園の拡張部として整備しました。<u>令和元年度内に、消防団器具庫の設置工事及び集合住宅の提供公園部分とをつなぐ階段の設置工事を行う予定です。</u></p>
⑤	東横線廃線跡地	<p>平成30年度、旧高島町駅付近の高架下を文化芸術事業に暫定活用することとし、8月に「R16 国道16号線スタジオ」をオープンしました。<u>今年度も引き続き、アーティスト・クリエイターが創作活動を行います。</u></p>
⑥	旧横浜税関西戸部寮公園整備	<p>国家公務員宿舎跡地について、環境創造局が土地の取得を進めており、街区公園として整備する予定です。</p> <p><b>【施設概要】</b> 公園面積 約1,500㎡  <b>【スケジュール】</b>  平成29～令和元年度(2017～2019年度) 用地取得  令和2(2020)年度以降 建物解体、公園整備工事(予定)</p>
⑦	旧野毛山寮公園整備	<p>当該地は、一本松まちづくり協議会のエリア及び地震火災対策方針における重点対策地域に含まれ、平成21年度に地域から市長あてに公園整備の要望書が提出されています。都市整備局が国家公務員宿舎跡地を取得し、防災に資する街区公園の整備、取付道路の整備等を行います。</p> <p><b>【施設概要】</b> 公園面積 約1,800㎡  <b>【スケジュール】</b>  平成29～令和元年度(2017～2019年度) 用地取得  平成30(2018)年度 解体工事  道路・公園整備に向けた調査・設計  令和元(2019)年度 公園設計(予定)、道路整備工事  令和2(2020)年度 公園整備工事(予定)、道路整備工事(予定)  令和3(2021)年度 移管手続(予定)</p>
⑧	老松町国公舎跡地	<p>国の公務員宿舎跡地を活用して、特別養護老人ホームを整備します。公募で決定した事業者が建設工事を進めています。</p> <p><b>【施設概要】</b>  事業者：社会福祉法人 白梅(しらうめ)福祉会  定員：入所90名、ショートステイ10名  <b>【スケジュール】</b>  平成30(2018)年8月～12月 解体工事(国が実施)  平成31(2019)年1月 建物工事着工  令和2(2020)年1月 竣工(予定)  令和2(2020)年4月 開所(予定)、入居開始(予定)</p>



⑨	野毛山公園プール 跡地公園整備	<p>野毛山公園プールは老朽化のため平成21年に解体され、跡地利用の検討・調整を行ってきましたが、隣接する野毛山公園の拡張部として、整備を行うことが決定しました。</p> <p>【施設概要】 土地面積 約6,200㎡</p> <p>【スケジュール】 平成30～令和元年度(2018～2019年度) 公園計画の検討 令和2(2020)年度以降 所管替え、公園設計、公園整備工事(予定)</p>
⑩	横浜駅周辺(別紙⑩参照)	
	横浜駅西口	<p>東日本旅客鉄道(株)は[1]JR横浜タワー(商業施設・業務施設等)及びJR横浜鶴屋町ビル(駐車場・子育て支援施設等)の建設を進めています。また、[6]JR横浜駅改札内において、中央南コンコースと南コンコースを結ぶ新たな地下通路とホームへのエレベーターを整備し、バリアフリー化を図ります。</p> <p>さらに、(株)相鉄アーバンクリエイツによって[2]西口地下街中央通路接続事業(通称)馬の背解消が進められています。平成29年度末に中央自由通路から西口地下街への接続通路の一部が仮開通し、平成30年末には岡田屋モアーズ側にも新たに階段・エスカレーターが設けられました。</p> <p>これらの事業に合わせて、[3][4]西口駅前広場についても再整備に向けて設計を進め、令和元年度から工事に着手します。</p> <p>また、神奈川区になりますが、[5]横浜駅きた西口鶴屋地区では国家戦略特区を活用し、グローバル企業誘致に資する居住機能を有した再開発事業(住宅、ホテル、商業施設等)を進め、令和元年度中の工事着手を目指しています。</p> <p>【スケジュール】</p> <p>令和元(2019)年度 [3][4]中央西口・きた西口駅前広場の整備工事着手</p> <p>令和2(2020)年3月 [2]西口地下街中央通路接続事業(馬の背解消)完了</p> <p>令和元(2019)年度 [5]横浜駅きた西口鶴屋地区再開発工事着手</p> <p>令和2(2020)年度 [1]JR横浜タワー、JR横浜鶴屋町ビル開業(春頃)</p> <p>[6]JR横浜駅改札内通路整備(コンコース間通路、ホームへのエレベーター使用開始)</p> <p>令和4(2022)年度 [5]横浜駅きた西口鶴屋地区の竣工</p>
	横浜駅東口	<p>横浜中央郵便局及びその周辺地区における民間開発の事業化に向けて、ステーションオアシス協議会(日本郵政(株)、東日本旅客鉄道(株)、京浜急行電鉄(株)、横浜市)により、<u>地下駐車場など地下の工事方法について詳細な調査を実施したところ、地盤改良や近接する鉄道への対策工事等による事業費への影響が大きいことが判明し、地下の掘削部分を縮小するなどの検討を行っています。</u>さらに、関連する基盤施設整備として、駅前広場やデッキ等の検討を行っています。</p> <p>横浜駅中央通路と東口駅前広場の間の階段には新たにエスカレーターを設置し、31年3月に供用開始しています。</p>

		<p>なお、横浜中央郵便局別館においては、開発計画(オアシス計画)の工事着手までの間の暫定活用として、飲食店や複合型体験エンターテインメント施設等が入る「アソビル」が3月からオープンしています。施設内には横浜駅みなみ通路から高島二丁目地区方面への通路が設けられました。</p> <p>また、[7]都心臨海部の回遊性を高めるための、連節バスを活用した「高度化バスシステム」の停留所を設置予定です。ルートは横浜駅東口を起点とし、みなとみらい地区等の来街者が利用する主要な施設を結び、山下ふ頭を終点とします。</p> <p>【スケジュール】アソビル(横浜中央郵便局別館) 平成31年3月～令和3年度 (2019年3月～2021年度)(予定) 暫定活用</p> <p>【スケジュール】[7]高度化バスシステム 令和元(2019)年度 走行環境整備工事、試走等 令和2(2020)年6月頃 運行開始予定</p>
⑪	<p>みなとみらい21地区(別紙⑪参照)</p> <p>地図上の赤丸番号は建設中、青丸番号は計画中、黄丸番号は公募中、緑丸番号は竣工済みの街区です。</p>	
赤①	<p>MM21地区 20街区 MICE施設</p>	<p>■横浜みなとみらい国際コンベンションセンター (通称)パシフィコ横浜ノース</p> <p>(株)横浜グローバルMICEがPFI事業としてMICE施設整備を行います。</p> <p>既存パシフィコとの一体的な運用を目指すため、整備事業とは別に(株)横浜国際平和会議場を運営事業者として契約を締結し、平成29年5月より施設の予約受付を開始しています。</p> <p>なお、民間収益事業者(リゾートトラスト(株))が隣にホテルを整備します。</p> <p>【スケジュール】 平成29(2017)年8月 着工(MICE施設) 9月 着工(ホテル) 平成30(2018)年8月 企業立地促進条例事業計画認定(ホテル) 令和2(2020)年春 MICE施設 オープン予定</p>
赤②	<p>MM21地区 臨港パークデッキ 整備事業 (20街区-臨港パーク)</p>	<p>20街区MICE施設整備事業と合わせ、20街区と臨港パークを結ぶ歩行者ネットワークとして、臨港パークデッキを整備します。</p> <p>【スケジュール】 平成31(2019)年3月 着工 令和2(2020)年4月 供用予定</p>
赤③	<p>MM21地区 臨港幹線キング軸 デッキ整備事業 (50-20街区)</p>	<p>20街区MICE施設整備事業と合わせ、20街区と50街区を結ぶ歩行者ネットワークとして、臨港幹線キング軸デッキを整備します。これにより、地区内における来街者等の利便性、安全の確保を図ります。</p> <p>【スケジュール】 平成30(2018)年7月 着工 令和2(2020)年4月 供用予定</p>

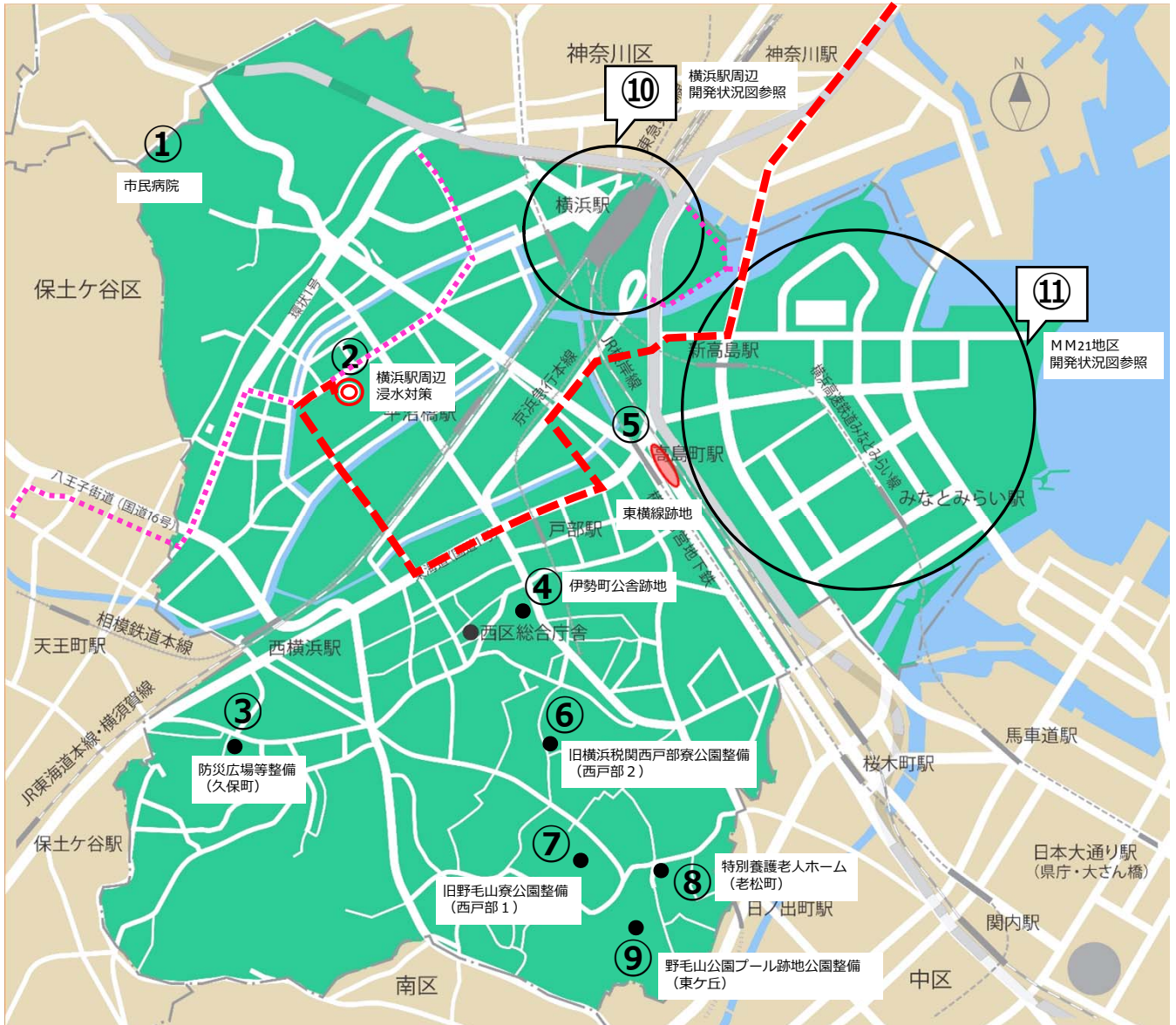
赤④	MM21地区 61街区の一部 ミュージアム	<p>■横浜アンパンマンこどもミュージアム&amp;モールプロジェクト 日本テレビ音楽㈱によって、48街区からの移転・リニューアル工事が進められています。</p> <p>【スケジュール】 平成30(2018)年3月 着工 令和元(2019)年7月 オープン予定</p>
赤⑤	MM21地区 54街区 オフィス、店舗	<p>■横浜グランゲート 清水建設㈱によって、オフィスビルが建設中です。低層部には店舗やカンファレンススペースが併設予定です。</p> <p>【スケジュール】 平成29(2017)年8月 着工 令和2(2020)年2月 竣工予定</p>
赤⑥	MM21地区 66街区-56街区間 デッキ整備事業 (66-56街区)	<p>横浜駅とみなとみらい21地区を結び、歩行者が円滑に移動できる歩行者ネットワークとして、66街区と56街区間のデッキを整備します。56街区の開発と合わせて、京浜急行電鉄株式会社が事業者となります。</p> <p>【スケジュール】 平成30(2018)年10月 着工 令和元(2019)年秋 供用予定</p>
赤⑦	MM21地区 56-1街区(北側) オフィス、ミュージアム	<p>■京急グループ本社 京浜急行電鉄㈱によって、本社ビルが建設中です。保育所と1階にはミュージアムが併設予定です。</p> <p>【スケジュール】 平成29(2017)年4月 企業立地促進条例 事業計画認定 平成29(2017)年7月 着工 令和元(2019)年9月 オープン予定</p>
赤⑧	MM21地区 58街区 オフィス、店舗、 プラネタリウム	<p>■横濱ゲートタワープロジェクト 鹿島建設㈱、住友生命保険相互会社、三井住友海上火災保険㈱によって、オフィスを主体とした複合施設を建設中です。 低層部には、みなとみらい地区初となるプラネタリウムのほか、インキュベートオフィス(起業支援を目的とした)や診療所・保育所等の設置が予定されています。</p> <p>【スケジュール】 平成31(2019)年4月 着工 令和3(2021)年度 竣工予定</p>

赤⑨	MM21地区 47街区の一部 オフィス、音楽ホール、ホテル等	<p>■(仮称)MM21地区47街区開発計画</p> <p>三菱地所㈱によって、事務所、ライブハウス型ホール、ビジネスホテル等からなる複合施設が建設中です。施設完成後、オフィス及びホール部分は㈱コーエーテクモゲームスに譲渡し、㈱コーエーテクモゲームスの本社機能が移転する予定です。</p> <p>また、ホールは「(仮称)KT Zepp Yokohama」、ホテルは「東急REIホテル」となる予定です。</p> <p>【スケジュール】</p> <p>平成29(2017)年4月 企業立地促進条例 事業計画認定 平成29(2017)年12月 着工 令和2(2020)年1月 竣工予定</p>
赤⑩	MM21地区 47街区の一部 オフィス、研究所	<p>■村田製作所みなとみらいイノベーションセンター</p> <p>㈱村田製作所によって、村田製作所みなとみらいイノベーションセンターが建設中です。</p> <p>【スケジュール】</p> <p>平成29(2017)年11月 企業立地促進条例 事業計画認定 平成30(2018)年5月 着工 令和2(2020)年9月 竣工予定</p>
赤⑪	MM21地区 43街区 大学	<p>■神奈川大学みなとみらいキャンパス</p> <p>学校法人神奈川大学によって、大学の新しいキャンパスが建設中です。</p> <p>【スケジュール】</p> <p>平成30(2018)年10月 本体着工 令和3(2021)年4月 開校予定</p>
赤⑫	MM21地区 38街区 コンサートアリーナ	<p>■ぴあアリーナMM</p> <p>ぴあ㈱によって、収容客数1万人規模の大型コンサートアリーナが建設中です。</p> <p>【スケジュール】</p> <p>平成29(2017)年11月 企業立地促進条例 事業計画認定 平成29(2017)年12月 着工 令和2(2020)年春 竣工予定</p>
赤⑬	MM21地区 38街区 オフィス	<p>■(仮称)首都高速道路(株)神奈川局開発計画</p> <p>首都高速道路㈱により、事務所が建設中です。現在神奈川県にある神奈川管理局が移転予定であり、神奈川県における首都高速道路の防災拠点となる施設です。</p> <p>【スケジュール】</p> <p>平成31(2019)年4月 着工 令和3(2021)年3月 竣工予定</p>

青①	MM21地区 60・61街区 音楽アリーナ、 ホテル、オフィス、 展示施設	<p>■Kアリーナプロジェクト  (株)ケン・コーポレーションにより、音楽アリーナ、ホテル、オフィス、展示施設の複合開発が計画中です。  音楽アリーナは、収容人数約2万人を予定し、音楽イベントに特化したアリーナとしては世界最大級の施設となる見込みです。</p> <p>【スケジュール】  令和2(2020)年8月 着工予定  令和5(2023)年秋 竣工予定</p>
青② <変更>	MM21地区 53街区 オフィス、商業施設、オープンイノベーションスペース、ホテル等	<p>(株)大林組、ヤマハ(株)、京浜急行電鉄(株)、日鉄興和不動産(株)により、オフィス、商業施設、にぎわい施設、オープンイノベーションスペース、ホテル等からなる複合開発が計画中です。</p> <p>【スケジュール】  令和2(2020)年12月 着工予定  令和5(2023)年11月 竣工予定</p>
青③	MM21地区 55-1街区 研究所、オフィス	<p>■(仮称)LGグローバルR&amp;Dセンター  LGエレクトロニクスジャパン(株)によって、研究所が計画中です。</p> <p>【スケジュール】  令和元(2019)年6月 着工予定  令和3(2021)年11月 竣工予定</p>
青④	MM21地区 44街区 ホテル	<p>■(仮称)みなとみらい44街区計画  積水ハウス(株)により、MM地区内初の外資系ラグジュアリーブランドのホテル「ウェスティンホテル横浜」が計画中です。</p> <p>【スケジュール】  令和元(2019)年11月 着工予定  令和4(2022)年1月 竣工予定</p>
青⑤ <追加>	MM21地区 37街区の一部	<p>■(仮称)みなとみらい21中央地区37街区開発計画  合同会社KRF48により、オフィス、ホテル、商業施設からなる複合施設が計画中です。</p> <p>【スケジュール】  令和2(2020)年3月 着工予定  令和5(2023)年3月 竣工予定</p>
青⑥ <追加>	MM21地区 (仮称)みなとみらい歩行者デッキ整備事業(18地区 - 10街区(新港地区))	<p>みなとみらい中央地区と新港地区を海沿いで接続する新たな歩行者専用デッキを計画中です。みなとみらいエリアの回遊性を高め、両地区の一体的な利用促進や賑わい創出効果が期待されます。</p> <p>【スケジュール】  令和元(2019)年夏頃 着工予定  オリンピック・パラリンピック開催までに 供用予定</p>
緑①	MM21地区 56-2街区	<p>■資生堂グローバルイノベーションセンター“S/PARK”  資生堂(株)による世界最大規模の化粧品の研究施設“S/PARK”は平成31年4月にオープンしました。</p>

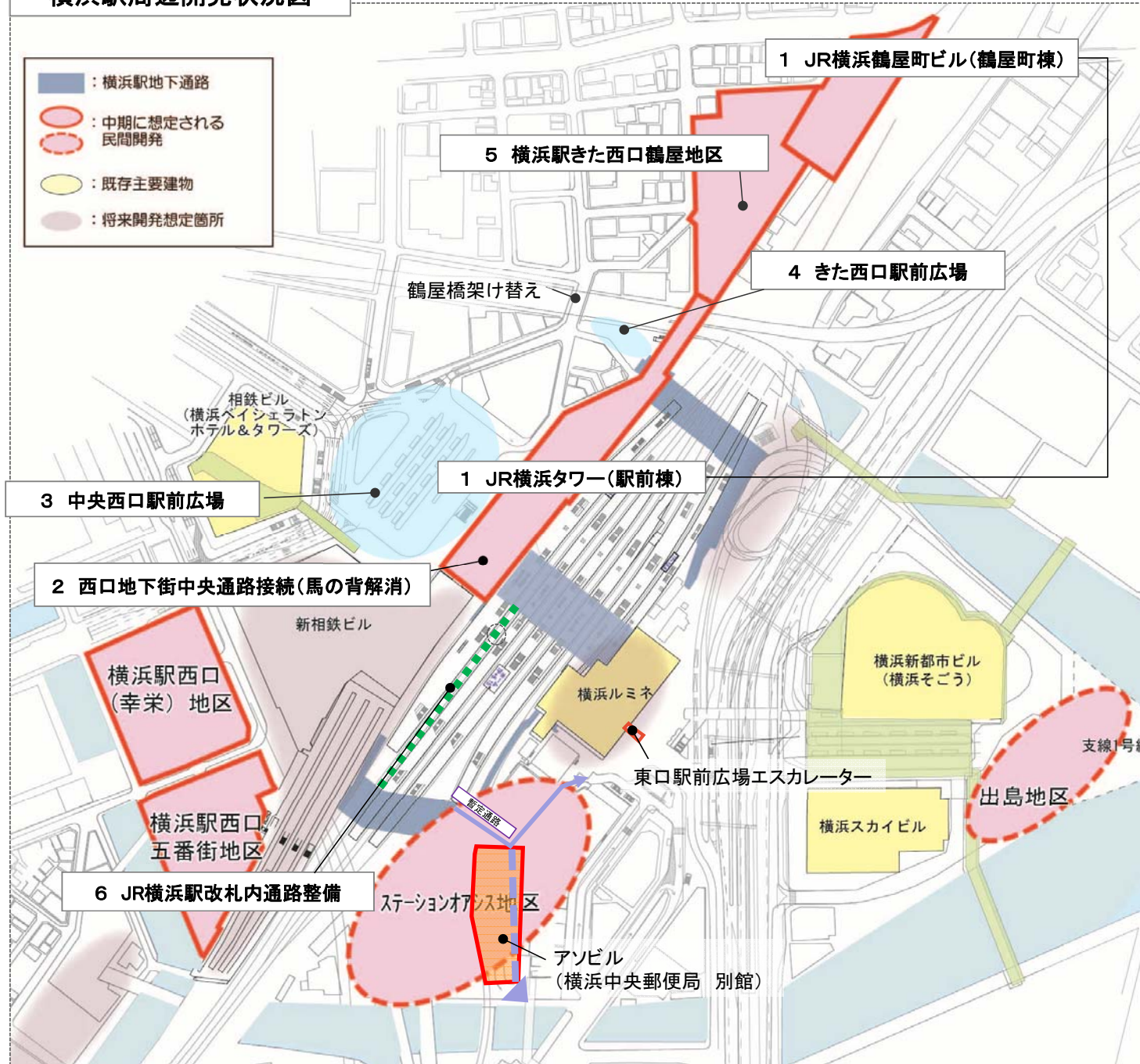


# 西区開発動向分布図



# 横浜駅周辺開発状況図

: 横浜駅地下通路  
 : 中期に想定される民間開発  
 : 既存主要建物  
 : 将来開発想定箇所



## 1 JR横浜タワー(駅前棟)

事業者:東日本旅客鉄道(株)  
 階数:地上26階、地下3階建て  
 高さ:約135m  
 用途:商業、業務施設等

H27(2015)年度 工事着手  
 R2(2020)年春頃 開業(予定)

## 1 JR横浜鶴屋町ビル(鶴屋町棟)

事業者:東日本旅客鉄道(株)  
 階数:地上9階  
 高さ:約31m  
 用途:駐車場、子育て支援施設等

H30(2018)年春 工事着手  
 R2(2020)年春頃 開業(予定)

## 2 西口地下街中央通路接続事業(馬の背解消)

事業者:(株)相鉄アーバンクリエイツ

H30(2018)年3月 接続通路の一部仮開通済み  
 R2(2020)年3月 竣工(予定)

## 3 中央西口駅前広場

R元(2019)年度 工事着手(予定)

## 4 きた西口駅前広場

R元(2019)年度 工事着手(予定)

## 5 横浜駅きた西口鶴屋地区(再開発ビル)

事業者:横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発組合  
 階数:地上42階  
 高さ:約180m  
 用途:住宅、ホテル、商業施設等

H29(2017)年度 再開発組合設立  
 R元(2019)年度 建築工事着手(予定)  
 R4(2022)年度 竣工(予定)

## 6 JR横浜駅改札内通路整備

JR改札内コンコースを結ぶ地下通路及びホームへのエレベーターを設置

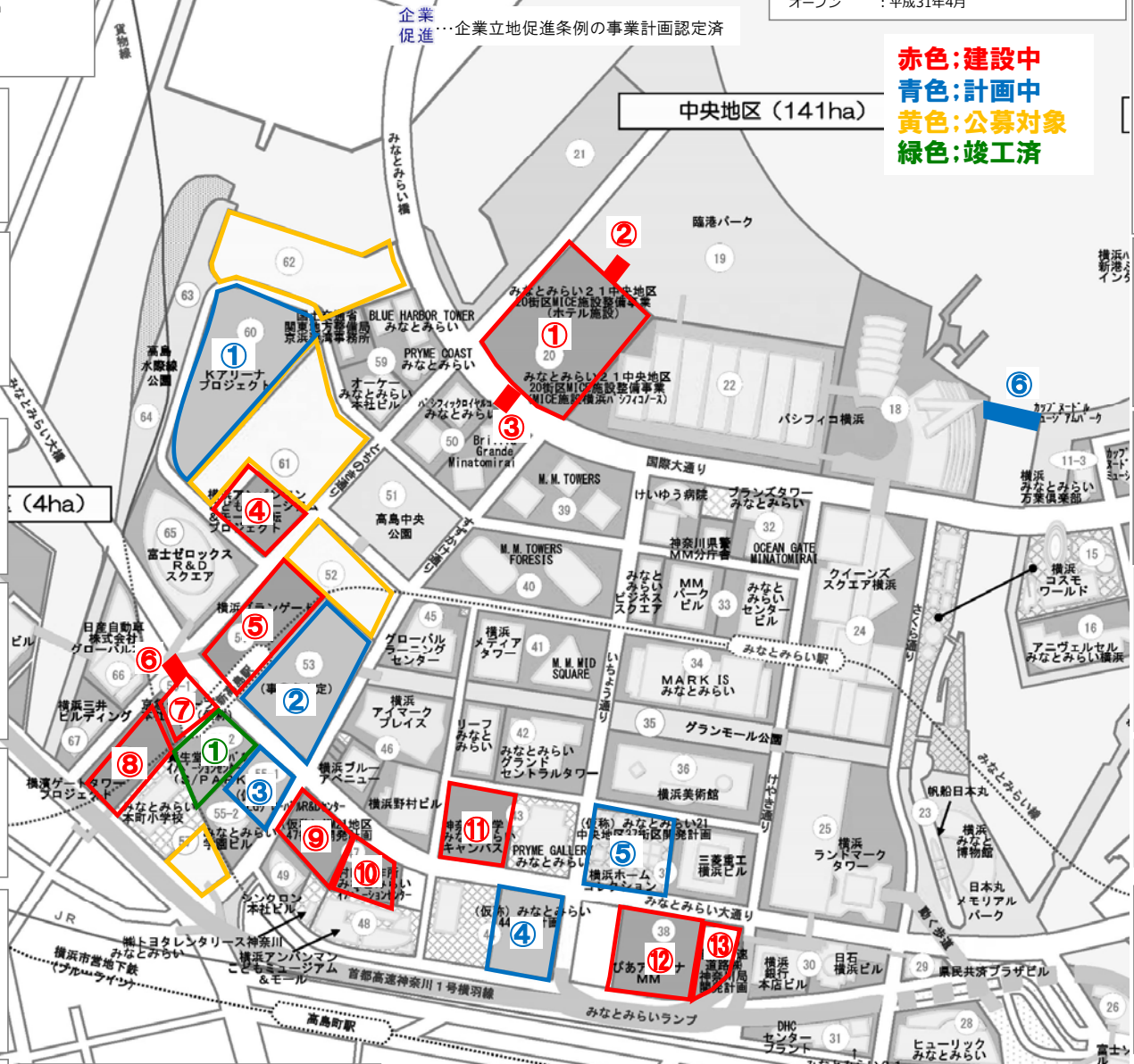
R2(2020)年夏頃 使用開始(予定)

## 7 高度化バスシステム停留所整備(東口)

R元(2019)年度 走行環境整備工事・試走  
 R2(2020)年6月頃 運行開始予定



# MM21地区 開発状況図 平成31年4月10日 時点



**① 建設中** 20：みなとみらい21中央地区20街区 MICE施設整備事業 **企業促進**

施設名称：MICE施設  
 規模等/高さ：地上6階・地下1階約36m 地上14階地下1階約30m  
 敷地/延床面積：約21,000㎡/約47,000㎡ 約9,500㎡/約48,000㎡  
 施設：多目的ホール、会議室等  
 オープン：令和2年春予定 令和2年初夏予定

**② 建設中** 20-臨港パーク：臨港パーク デッキ整備事業 **(変更) 計画中⇒建設中**

事業主体：港湾局  
 規模等：幅員8m、延長約20m  
 供用開始：令和2年4月予定

**③ 建設中** 50-20：臨港幹線キング軸 デッキ整備事業

事業主体：都市整備局、港湾局  
 規模等：幅員15m（うち歩行者通行部8m）、延長約56m  
 供用開始：令和2年4月予定

**④ 建設中** 61の一部：横浜アンパンマンこどもミュージアム&モール プロジェクト

事業主体：日本テレビ音楽株式会社  
 規模等/高さ：地上3階・地下1階/約18m  
 敷地/延床面積：約5,700㎡/約14,000㎡  
 施設：ミュージアム、店舗  
 オープン：令和元年7月予定

**⑤ 建設中** 54：横浜グランゲート

事業主体：清水建設株式会社  
 規模等/高さ：地上19階/約100m  
 敷地/延床面積：約13,500㎡/約101,000㎡  
 施設：事務所、店舗等  
 竣工：令和2年2月予定

**⑥ 建設中** 66-56：デッキ整備事業

事業主体：京浜急行電鉄株式会社  
 規模等：幅員4.0m、延長約38m  
 供用開始：令和元年秋予定

**⑦ 建設中** 56-1：京急グループ本社 **企業促進**

事業主体：京浜急行電鉄株式会社  
 規模等/高さ：地上18階・地下2階/約86m  
 敷地/延床面積：約3,600㎡/約25,800㎡  
 施設：事務所、展示スペース、保育所等  
 竣工：令和元年8月予定

**⑧ 建設中** 58：横浜ゲートタワープロジェクト **(変更) 計画中⇒建設中**

事業主体：鹿島建設株式会社、住友生命保険相互会社  
 三井住友海上火災保険株式会社  
 規模等/高さ：地上21階、地下1階、高さ約110m  
 敷地/延床面積：約9,300㎡/約84,000㎡  
 施設：オフィス、店舗、プラネタリウム等  
 竣工：令和3年度予定

**⑨ 建設中** 47の一部：(仮称) MM21地区 47街区開発計画 **企業促進**

事業主体：三菱地所株式会社  
 規模等/高さ：地上15階、地下1階、高さ約81m  
 敷地/延床面積：約8,700㎡/約37,000㎡  
 施設：株式会社コーエーテクモゲームス本社  
 東急REIホテル、ホール、店舗等  
 竣工：令和2年1月予定

**⑩ 建設中** 47の一部：村田製作所みなとみらいイノベーションセンター **企業促進**

事業主体：株式会社村田製作所  
 規模等/高さ：地上18階、地下2階、高さ約100m  
 敷地/延床面積：約7,400㎡/約60,000㎡  
 施設：オフィス、研究所等  
 竣工：令和2年9月予定

**⑪ 建設中** 43：学校法人神奈川大学 みなとみらいキャンパス **企業促進**

事業主体：学校法人神奈川大学  
 規模等/高さ：地上23階・地下1階/約100m  
 敷地/延床面積：約7,850㎡ / 約49,800㎡  
 施設：大学、研究施設等  
 オープン：令和3年4月予定

**⑫ 建設中** 38の一部：びあアリーナMM **企業促進**

事業主体：びあ株式会社  
 規模等/高さ：地上4階、地下1階、高さ約33m  
 敷地/延床面積：約12,000㎡/約21,800㎡  
 施設：アリーナ他  
 竣工：令和2年春予定

**⑬ 竣工済** 56-2：資生堂グローバルイノベーションセンター “S-PARK” **企業促進**

事業主体：株式会社資生堂  
 規模等/高さ：地上16階・地下1階/約77m  
 敷地/延床面積：約6,500㎡/約56,000㎡  
 施設：事務所、化粧品研究所、店舗等  
 オープン：平成31年4月

**⑭ 計画中** 60・61の一部：Kアリーナ プロジェクト

事業主体：株式会社ケンコーポレシジョン  
 規模等/高さ：地上25階、高さ約100m  
 敷地/延床面積：約31,800㎡/約112,100㎡  
 施設：音楽アリーナ、ホテル、オフィス、展示施設  
 竣工：令和5年秋予定

**⑮ 計画中** 53： **(変更) 公募中⇒計画中**

事業主体：株式会社大林組、ヤマハ株式会社、京浜急行電鉄株式会社、日鉄興和不動産株式会社  
 規模等/高さ：【WEST棟】地上28階、高さ153m 【EAST棟】地上15階、高さ85.5m  
 敷地/延床面積：約20,620㎡/約182,825㎡  
 施設：オフィス、商業施設、オープンイノベーションスペース、にぎわい施設、ホテル等  
 竣工：令和5年11月予定

**⑯ 計画中** 55-1：(仮称) LGグローバル R&Dセンター

事業主体：LG Electronics Japan株式会社  
 LG Holdings Japan株式会社  
 規模等/高さ：地上16階・地下1階/約93m  
 敷地/延床面積：約4,000㎡/約35,800㎡  
 施設：研究所、事務所等  
 竣工：令和3年11月予定

**⑰ 計画中** 44の一部：(仮称) みなとみらい4 4街区計画 **企業促進**

事業主体：積水ハウス(株)  
 規模等/高さ：地上23階/約100m  
 敷地/延床面積：約9,900㎡/約64,600㎡  
 施設：ホテル  
 竣工：令和4年1月予定

**⑱ 計画中** 37の一部：(仮称) みなとみらい21 中央地区37街区開発計画 **(追加)**

事業主体：合同会社KRF48  
 規模等/高さ：地上28階、地下1階/高さ約146m  
 敷地/延床面積：約10,100㎡ / 約122,000㎡  
 施設：オフィス、ホテル、店舗、駐車場  
 竣工：令和5年3月予定

**⑲ 計画中** 18：(仮称) みなとみらい歩行者デッキ **(追加)**

事業主体：港湾局  
 規模等：幅員6m、延長約75m  
 供用開始：オリンピック・パラリンピック開催までに

**⑳ 建設中** 38の一部：(仮称) 首都高速道路(株) 神奈川局開発計画 **(変更) 計画中⇒建設中**

事業主体：首都高速道路株式会社  
 規模等/高さ：地上10階、高さ約47m  
 敷地/延床面積：約2,500㎡/約14,000㎡  
 施設：オフィス、駐車場  
 竣工：令和3年3月予定

企業促進…企業立地促進条例の事業計画認定済

**赤色：建設中**  
**青色：計画中**  
**黄色：公募対象**  
**緑色：竣工済**